

ミャンマー一国から15名の研修員が来日！ 資源管理型漁業について学びます！

国際協力機構(JICA)北陸支部は、公益財団法人青年海外協力協会(JOCA)中部支部の協力の下、明日6月16日から6月28日までの約2週間、ミャンマー一国から15名の研修員を招聘し、富山県内で青年研修*を実施します。

今回来日する研修員は、ミャンマー一国関係省庁の職員や水産業振興の関係者で、ミャンマーの資源管理型漁業分野において将来の活躍が期待される若手人材です。

研修期間中は富山市を拠点に、氷見市、黒部市、石川県七尾市において定置網漁法や地元の水産物加工技術、養殖技術などを学びます。また、富山県内の自治体や漁業協同組合での講義を通じて、日本の水産業における制度や支援体制等について学びます。

6月25日(土)には、実際に定置網漁船に乗船し、定置網漁を体験していただく機会も予定されております。

本研修につきまして、当日の取材・報道方、よろしく願いいたします。

詳しい日程につきましては、添付資料をご覧ください。

なお、研修時間・実施場所は予定なく変更になる可能性がありますので、必ず事前にご連絡ください。

別添：日程表

【本件に関する問い合わせ先】
(独) 国際協力機構北陸支部 (JICA北陸) 名村
TEL 076-233-5931 e-mail : Namura.Kinya.2@jica.go.jp

*開発途上国の青年層を対象に、それぞれの国で必要とされている分野における日本の経験、技術を理解する基礎的な研修を行い、将来の国づくりを担う人材の育成に協力する事業です。